

第55回 齋藤 有さん (聖徳大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第55回目は、齋藤 有さんにご執筆いただきました。

研究を始めて10年 ようやく気付いた絵本の魅力

子どもを笑顔にするために大人にできることはなんだろう、それが私の研究の原点です。さまざまな出会いや偶然が重なり、大学院進学とともに、絵本を介した親子のやりとりについての研究を始めましたが、実は、私自身に絵本に特別な思い出や思い入れがあるわけではありませんでした。「私は絵本の研究をしているのではなくて、親子のやりとりの質を見るために絵本の場面を選んだだけ」そんな言い訳をして、絵本と向き合うことをむしろ避けてきたようにも思います。

そんな私も、3歳になる息子と実際に絵本を読み合う中で、絵本というメディアの魅力や奥深さをようやく実感するようになりました。今さらながら私の中で絵本への興味が高まり、絵本自体のもつ性質が絵本を介した親子のやりとりの質とどう関連しているのだろうと、これまでの研究に新しい視点が加わりました。

研究を始めて10年。自分の力不足、努力不足を痛感する毎日ですが、チャンスがある限り、細々とでも楽しんで研究を続けていきたいと思っています。

齋藤 有 (Yu SAITO)

【所属】 聖徳大学

【連絡先】 yusaito615@gmail.com

【HP】 <https://researchmap.jp/yu-saito/>